

2月10日 逍遙 

逍遙館長さんの話では、この西郷銅像を制作したのは、鹿児島市出身の安藤照という彫塑家で、この人は実は、東京渋谷の忠犬ハチ公の初代像も制作した人物だそう。ハチ公といえは、飼い主さんが急死した後も約10年間、渋谷駅の前で毎日その帰りを待ち続けた、という伝説の秋田犬の事ですね。そもそも犬って、リーダーである飼い主さんの言う事に従順・忠実な、社会性の高い一族。そのあたりがワタシ達・猫一族とは違うのですが、特にこの忠犬ハチ公は、ワタシ達・猫一族の間でも結構名の知れた存在なのです。そのハチ公の美談に感動した安藤制作の忠犬ハチ公像が渋谷駅前に設置されて僅か3年後の昭和12年に、同じ安藤が西郷銅像を完成させたのだそう。

逍遙館長さんは、「同じ安藤さんが制作した忠犬ハチ公の初代像と西郷銅像を見ると、飼い主に対するハチ公の忠実さ、そして西郷の島津斉彬に対する忠義、さらには西郷の明治天皇に対する忠節が、どうしても重なってしまうんだよなあ」と、また一人で呟いていました。

次回「真の「文明」と「優しさ」、のこころ」

それぞれの銅像を繋ぐもの、

のこころ

